



報道関係者各位
報道発表資料

2014年6月20日
株式会社システムズ

■□無料セミナー「事例から学ぶ 既存IT資産利活用のヒント」、開催迫る！□■
～6月24日、株式会社NTTデータビジネスシステムズなどと共同で実施
企業内情報の戦略的活用手法やレガシーシステム再生活用事例を紹介～

株式会社システムズ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:小河原隆史)は、6月24日(火)に開催される株式会社NTTデータビジネスシステムズ主催のセミナー、「事例から学ぶ 既存IT資産利活用のヒント」に協賛し、講演を行います。

企業内のIT資産は、Excel から VB アプリケーション、Web アプリケーション、ERP システムまで、作りが異なる既存システムがさまざまな部門に散在し、統合の困難さに悩みを持つケースが多いのが実情です。また、基幹系レガシーシステムにおいても、内部統制への対応強化、システムのブラックボックス化の見直し、老朽化対策や IT コスト削減といった多くの課題が見られています。

今回のセミナーは、既存の IT 資産を活かしつつ、企業内情報の戦略的活用を目指して、その手法や最新事例を紹介するものです。株式会社 NTT データビジネスシステムズによる『社内に散在する既存 IT 資産の戦略的活用とは ～ユーザ視点でのハイブリッドインテグレーションの実現～』、協賛企業の株式会社 NTT データイントラマートによる、『既存 IT 資産を有効活用しながら業務効率の向上を実現する「プロセス統合フロント」とは』に続いて、株式会社システムズでは『最新マイグレーション適用事例から見えてくるレガシーシステム見直しのコツ』と題した講演を行い、レガシーシステムの再生と活用を事例を交えて探っていきます。

受講は無料です(事前登録が必要)。申し込みは NTT データビジネスシステムズの Web サイト(<http://www.nttdata-bizsys.co.jp/event/2014/0624.html>)で受け付けています。

→>> セミナーの概要 <<-

- 日時:2014年6月24日(火) 14:30～17:30(受付開始:14:00)
- 場所:東京 五反田 TOCビル 13階会議室
(地図: <https://www.toc.co.jp/map/map.html>)
- 参加費:無 料 / 定 員: 30名(定員になり次第、締め切ります)

■セミナープログラム概要

14:00～ 受付

14:30～14:40 ご挨拶

14:40～15:10

『社内に散在する既存IT資産の戦略的活用とは

～ユーザ視点でのハイブリッドインテグレーションの実現～』

15:10～15:50

『既存IT資産を有効活用しながら業務効率の向上を実現する「プロセス統合フロント」とは』

16:05～17:00

『最新マイグレーション適用事例から見えてくるレガシーシステム見直しのコツ』

17:00～17:30 質疑応答

■『レガシーマイグレーション』サービス ポータルサイト <http://www.migration.jp/>

■システムズのマイグレーションセミナー情報 ホームページはこちらから

<http://seminar.migration.jp/index.html>

■株式会社システムズについて

当社は、1969年に設立されコンピュータ・システムの進化とともに歩んでまいりました。基幹系システム、情報系システム、Webソリューションの構築において幅広い実績を積むとともに、『マイグレーション特許』を2003年に取得(特許第3494376号)。現在、関連特許を含め国内外で16の特許を保有。独自のシステム開発にも磨きを掛け、事業領域を拡げながら進化し、現在に至っております。

■会社概要

社 名：株式会社システムズ

代表取締役社長：小河原 隆史

住 所：〒141-0031

東京都品川区西五反田7-24-5 西五反田102ビル8F

会社URL：<http://www.systems-inc.co.jp/>

TEL：03-3493-0033(代表) / FAX：03-3493-2033

[事業内容]

- ・マイグレーション(レガシーシステム移行)
- ・システム インテグレーション / システム コンサルティング
- ・ソフトウェア受託開発 / ソフトウェアパッケージ販売 / 情報処理機器販売

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社システムズ マイグレーション事業本部 広報担当：中本

TEL：03-3493-0032

E-mail：news_release@migration.jp

【商標について】

文中の社名、商品・サービス名は製品は、各社の商標または登録商標です。